

豪雨災害にお見舞い 救援を!

県下でも豪雨や突風による被害が発生。九州や岐阜の被害への救援募金に取り組むとともに、あらためてコロナ禍での災害対策に万全を!

6月議会お疲れ様でした

6月議会での論戦お疲れ様でした。

コロナ対策としての医療と保健、PCR検査の体制強化、休校明けの学校の三密対策と少人数学級、GIGAスクール構想、感染症対策を踏まえた防災対策などが議論されました。同時に一般質問の中止、議員報酬削減なども各地で。



早くも7月臨時議会が始まっています。引き続き、がんばりましょう。

6月議会について(自治体部集約分)

○一般質問の中止=9議会

豊田市・岡崎市・みよし市・豊川市・田原市・愛西市・北名古屋市・東浦町・幸田町

○議員報酬の削減

愛知県議会(6月手当10%) + 21議会

小牧市(6カ月10%)・豊山町(12カ月10%)・清須市(1カ月全額100%)・北名古屋市(10カ月10%)・大府市(9カ月5%)・東海市(9カ月5%)・知多市(9カ月5%)・半田市(9カ月3%)・常滑市(9カ月5%)・南知多町(9カ月5千円 役職者はさらに)・美浜町(9カ月5%)・岩倉市(8カ月10%)・江南市(7カ月5%)・稲沢市(6カ月10%)・日進市(期末手当30%)・知立市(9カ月7.5%)・西尾市(1カ月50%)・幸田町(9カ月10%)・新城市(6月手当30%)・豊橋市(9カ月10%)・田原市(10カ月10%)



岡崎市は3月議会、6月議会と連続して一般質問が中止に。党市議団は、10月に市長選・市議選があるのに争点を明らかにしないまま選挙戦に入るのか!と厳しく批判。議会の存在意義が問われます。

保健所復活を! 犬山市議会一班質問から

岡村議員) 県内のPCR検査の体制は?

答弁) 感染症の医療面の対応は県が広域的に進

めている。PCR検査は一日300件から783件に拡大。検査所を5月に3カ所開設し、今後必要に応じて増設を検討中。犬山市では2月末に検査体制を整えるよう3市2町共同で要望書を提出した。

岡村) 保健所が全国で90年代の850から472まで減らされ、職員も削減された。犬山市にはかつて江南保健所犬山分室があった。

新型コロナ感染症をふまえ、保健所の復活を求めらるべきだ。



答弁) 市民にとって身近に保健所がある方が心強いと思う、機会をとらえ県に要望していく。

PCR検査拡充署名のひな型 活用を!

愛知県知事 大村秀章様

PCR検査の拡充を求める要請署名

新型コロナウイルスの感染に、多くの県民が不安を募らせています。一時的に収束しているように見えても、第2次の感染拡大の可能性があるとされており、油断はできません。感染を抑止するためには、感染者を早期に発見し、症状に応じた医療と隔離を行うことが必要です。

5月11日に、貴職は、18名の知事の連名で「感染拡大を防止しながら一日も早く経済・社会活動を正常化し、日常を取り戻すための緊急提言」を発表され、PCR検査の拡充を含む緊急の施策を講じることを国に提言されました。私たちは、この「緊急提言」に即して、PCR検査の拡充について、以下のことを要請します。

①ひきつづき国に対して、PCR検査の抜本的な拡充を要請すること

②感染が疑われるすべて人が、病院で診察した医師の判断で、すみやかにPCR検査を受けられるようにすること

* 県民の相談に応えられるように、保健所の機能を充実させること

* 医療機関と協力し、検査実施場所を県下各地に設置すること

③集団感染を防ぐために、医療機関、介護・福祉施設の従事者と入院患者・入所者にPCR検査を積極的に実施すること

④検査対象を広げるために、抗原検査、抗体検査を取り入れること

